

## 第2回三木市中小企業振興審議会議事録

- 1 日時・場所 平成27年3月26日(木) 午後6時00分から午後8時00分  
市庁舎4階 特別会議室
- 2 出席者 <委員6名>  
佐竹会長、鈴木副会長、井澤委員、鶴目委員、栗井委員、吉見委員  
<事務局7名>  
北井副市長、岩崎理事兼政策監、永尾産業環境部長、藤原商工課長、  
小山商工課主査、西山主事、三木主事
- 3 欠席者 浅野委員
- 4 会議の公開、  
非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 開 会
- 7 議 事

|     |  |
|-----|--|
| 会長  | 平成26年度の三木市中小企業振興策の実施状況と評価について、事務局から説明をお願いします。  |
| 事務局 | <p>現在の実績を説明させていただきます。前回、お示しした半期の実績を新しいデータに置き換えております。</p> <p>配布させていただいた資料1「平成26年度中小企業振興施策の実施状況」についての説明</p>  |
| 会長  | <p>概ね目標の数値を超えており、若干、事業については下回っているものもありますが、目標設定した事業については概ね達成できていると思います。ただ、雇用の安定と人材育成するための施策は目標を達成できていませんが、これは中小企業の雇用情勢が悪いと考えられます。</p> <p>特に春闘のベアに関しては今まで前例はありませんでした。戦後の労働民主化があつて、民主化闘争以降、ある程度春闘の整備がされてきたのが昭和37年・38年頃です。春闘では組合側のベアの要求額を出して経営者側が下げるとというのが普通だが、組合側が出して経営</p> |

|     |  |
|-----|--|
| 副会長 | <p>者側が頼んであげるのは歴史上、初めてだと思います。</p> <p>大企業がこのようなことをしてしまうと、大企業が良い人材を独占するので、三木市の中小企業に良い人材がなかなか集まりにくくなるのではないかと思います。このような情勢も含めて、こういう傾向が表れているのではないかと感じながら拝見しました。</p> <p>経営革新についてもなかなか良いと思いますが、皆様はどうお考えですか。</p> <p>数字的には素晴らしい成績もあり、概ね目標を達成できていると思います。</p> <p>数字に表れにくい点かとは思いますが、中小企業サポートセンターの相談について、補助金の申請の支援や融資など、これまでやってこられた会社がそのまま生き残るための支援だけでなく、新たなチャレンジや市場開拓につながるような支援していますか。</p> |
| 会長  | <p>広い意味でのイノベーションがあったかどうかだと思います。ただ、イノベーションの意味合いが、国の制度の経営革新の意味合いだと少し広く、例えばブランディングイノベーション、要するにブランド力や信用力を高めることです。また、組織のイノベーション、プロダクト(製品)イノベーション、連携をすとか社内の組織改革をしてモチベーションを高めるなど、また、資源のイノベーション、これは人材育成や事業承継なども含めて考える必要があります。</p>  |
| 副会長 | <p>実際にイノベーションが起こったりするのはこれからだと思いますが、サポートする際にそういった観点を持ってサポート先を選ばれましたか。</p>   |
| 事務局 | <p>改革なり革新といった意味では、具体的な成果はないが、今回の国のものづくり事業の補助金の申請には深くサポートしていますが、国の補助金を受けようと思うと何か革新的な内容でないとなかなか通りづらいので、事業計画の作成をサポートしていくうちに新たな事業展開も企業の中で芽生えてきたのではないかと思います。</p>  |
| 会長  | <p>中小企業サポートセンターを4月1日に開設されましたが、企業経営者の方が独自で融資や補助金の申請をするというのはなかなか難しいところがあります。プロの中小企業診断士が申請サポートを行い、その中で新たな事業展開が生まれるということをされてきたのだと思います。</p>   |
| 事務局 | <p>そのようになっています。</p>  |
| 会長  | <p>事例をいくつかあげてもらえますか。</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>ものづくり補助金については、製造業の新たなラインを考えると新たな機械を導入して受注拡大や生産性向上などの改革的内容となっています。融資の場合は創業融資も多いが、生産性をあげるためなど大きな設備投資をする場合に例えば5千万円の設備投資が必要になると、市の制度融資やプロパー融資では対応できないところもあるので、日本政策金融公庫の中小企業向けの制度を使って低利で借りられるような事業計画をサポートセンターで支援しました。革新的なレベルに達しているとは言えない部分もありますが、徐々にこのような支援を行っています。</p> |
| 副会長 | <p>金物後継者育成事業だが、これは工業組合が実施されたセミナーで参加されているのはどういった方が多いですか。</p>   |
| 事務局 | <p>既にものづくりに携わっている若手の従業員さん、また、例えば包丁を作っている業者さんが鋸の技術も身に着けておこうという方もおられます。今作っている物をさらに極めようとする方と、今作っている物とまた別に技術を習得しようとしている方がおられます。</p>   |
| 副会長 | <p>三木の金物の業界内での技術をクロスさせる支援を市がしているという解釈でいいですか。</p>  |
| 事務局 | <p>そうです。</p>  |
| 副会長 | <p>これは大切なことだと思います。</p>  |
| 会長  | <p>ものづくり系の人材育成はどういう風になっていますか。なかなか大変だとは思いますが。</p>  |
| 事務局 | <p>熟練した職人の横について行うのが本来の技術継承で、なかなかそのようにいかないため、技術の継承も難しいと思います。また、手作りがどれぐらい求められているかということもあり、将来にわたって手作りを続けていきたいという人のレベルには、このセミナーでは不足だと感じています。</p>  |
| 会長  | <p>創業には1つ目に小売・飲食・理美容業、2つ目にIT系、3つ目に教育・健康・環境・観光のソーシャルイノベーションがありますが、起業された方の食品製造とは具体的にどのようなものですか。</p>   |
| 事務局 | <p>山田錦の酒米で酒には回らない規格外の米を使って黒酢を作っておれます。</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| 会長  | 本格的にされているのですね。  |
| 事務局 | はい。加工は九州の本格的な製造業者を使っており、こちらで瓶詰やラベルの作成などをされて、高級路線で出されています。それから飲食につきましても、一般的なうどん屋や喫茶店を開くのではなく、地産地消の弁当の移動販売やローフードという低温で加工する健康志向の料理を提供する料理教室併設のカフェをされています。    |
| 委員  | 資料に記載の創業者の10件とはどこからとられていますか。  |
| 事務局 | サポートセンターに相談に来られた中から起業を実現された方々で女性を含んでおります。<br>介護サービスを1件あげておりますが、こちらも一般的なホーム介護事業ではなく、保険適用外の事業を実施し、でお墓参りにつれていってあげたり、本が好きな方に本を読んであげたりといろいろな便利屋さんのサービスをされています。 |
| 委員  | 山田錦の加工をされた食品製造をされているかたは全くの個人のかたですか。   |
| 事務局 | もともとは飲食店を経営されており、引退されてからも続けたいという意志が強く、周りの同業者とともにされています。   |
| 会長  | 基本的にこのような製品の場合は売ってくれるところと食べてくれるところをどう確保するかが重要となる。マーケティングも含めて頑張っていたきたいです。  |
| 委員  | 達成状況については、素晴らしいと思います。<br>事業費には人件費はふくまれていますか？  |
| 事務局 | 人件費の中には職員の人件費は含まれておりません。相談員の人件費のみです。補助事業につきましては、補助金のみ計上しております。  |
| 委員  | 見本市の助成は初めてなのか、それとも、以前からされていますか。   |
| 事務局 | これは以前から行っております。   |
| 委員  | 国内の見本市はされているようですが、これまでの評価はどのようにされていましたか。補助の効果などはどうなっていますか。  |
| 事務局 | 評価は出展企業からのアンケートを取っておりますが、商談がどれぐらいあったかや新たな販路ができたかなど、アンケート結果から、   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>毎回、新たな取引先を見つけていることから効果はあったものと評価しています。</p>  |
| 会長  | <p>三木金物は海外の見本市にも行っておられますね？</p>  |
| 事務局 | <p>2年に1回ケルンで行っております。シカゴでも何回か行いました。以前、中国で行ったことがあります。1週間後にコピー商品が出回ったため、現在は出していません。</p>  |
| 会長  | <p>平成27年度の事業について説明をお願いします。</p>  |
| 事務局 | <p>資料2「平成27年度の予算(案)のポイント(事業集)」についての説明</p>   |
| 会長  | <p>プレミアム商品券に関しては、国からの要請で補助金が出されている。国が商品券の2割を持つということになります。</p>   |
| 副会長 | <p>そうすると市にとってのリスクはないということですか。</p>   |
| 事務局 | <p>そうです。<br/>我々としては、中小企業への助成金としてなんらかの形で対応したいとお伝えしたが、直接的な消費喚起につながるものでないとならず、商品券に限定されていた。<br/>3億5千万円で、さらに期間を半年と設定しているため、量販店を排除することは難しく、どういう形で制度設計をするかが課題です。</p>             |
| 会長  | <p>旧三木と旧吉川で分かれているのはなぜですか。</p>   |
| 事務局 | <p>吉川では先行してプレミアム商品券の発行を行っているため、統合するのが難しいと判断しました。</p>  |
| 会長  | <p>ゴルフの利用券のプレミアム率が異常に高いですね。</p>   |
| 事務局 | <p>ゴルフ税利用税の確保が今年は守れましたが、来年は非常に厳しい状況になるため、ゴルフ場の確保をしていくためにゴルフ場とWinWinの関係を作る必要があり、ゴルフ場の利用税もおさめてもらうが、市としてもゴルフ場に対してお返しをゴルフ場の利用促進というかたちでしようとしています。<br/>また、市外の方をターゲットとしています。</p> |
| 会長  | <p>起業された方で弁当の移動販売をされている方はどのようにされていますか。都市部では規制しようという動きがありますが。</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | 元々、固定客があるのでそこをターゲットにされているようです。  |
| 会長  | これは良いと思うのですが、規制しようとする動きが出てきているようです。   |
| 会長  | 夢街道のカフェテラスの件ですが、この道はかなり距離があるようです。   |
| 事務局 | エリアは5500mですが、整備するのは4900mです。地方創生について、国から平成27年度中に作成するように言われております。三木市としましても、まち・ひと・しごとの総合戦略を作成するために4月早々には会議を立ち上げて進めていく計画を考えています。その中のひとつの大きな柱が中小企業対策になってくるので連携をしながらやっていく進め方になります。  |
| 会長  | なにか質問等ございますか。   |
| 副会長 | 融資の支援は今後も有効な形で進めてほしいです。三木で起業するのが魅力的だという評判が立つことが大事だと思います。若年者雇用促進事業ですが、対象が市内居住の若年者となっているが、こちらは採用後に市内に移住した方も含まれますか。  |
| 事務局 | 含まれています。  |
| 副会長 | 三木市にとってそちらが非常に重要だと思います。   |
| 委員  | 女性起業家の支援は、もっと可能性のある人がいると思うのでぜひ続けてほしいと思う。ものづくり系はなかなかないと思うがサービス関係は女性のほうが多いと思います。<br>もう一つは、ゴルフ場の件で私もたまに三木市でゴルフをするが、大阪から来られている方はあまり三木市というのには気にされていないと思う。ゴルフ場とタイアップして三木の産物を置いてもらって外から来られる方にもっとPRしたらいいのではないかと。平成27年度は、平成26年度のように黒田官兵衛のようなドラマもないので難しいとは思いますが、よろしくお願ひしたい。 |
| 会長  | 山田錦はいくらでも作れるようになったのですか。   |
| 事務局 | 減反政策が平成29年度までありますが、今は酒米が不足しているので、その酒米を枠外として三木に150haの枠外の作付けを認める仕組みが平成26年度に始まり、平成27年度も継続されます。国が   |

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | <p>戸別補償というかたちで枠内の作付けで10aあたり7,500円の補償を出していますが、枠外の作付けには出ないので、三木市としては枠外の150ha分に対して、三木市が独自で国の個別補償と同額の10aあたり7,500円の補助金を出していく内容です。</p> <p>商品券など、地域を振興させるために一工夫が必要だと思います。またカフェテラスなどに関しても起業家に任せるなども良いと思いますので一工夫をして、力を入れていく仕組みが良いと思います。</p> <p>ミニ道の駅に関しては2年かかるとのことだが、もう少しスピードアップしたほうが良いと思います。マルシェなどは若い方、中高大と連携して若い方が参加するようにできればいいと思います。</p> |
| 委員  | <p>マルシェを緑が丘で、できることならやってほしいです。</p>  |
| 委員  | <p>ゴルフ場の利用券ですが、ゴルフ場のプレイ代だけでなく運営にも使えるものが面白いのではないかと思います。</p>   |
| 会長  | <p>ゴルフ場でもプレミアム付き商品券は使えますか。</p>   |
| 事務局 | <p>ゴルフ場が登録店舗に申請していただければ、ゴルフ場でも使用可能です。</p>  |
| 会長  | <p>登録申請をしていただけるように、広く告知をしてもらう必要があります。</p>  |
| 委員  | <p>若年者の雇用について効果的な策だとは思いますが、高校を卒業して市外の大学に行かれる方が多いと思うので、そういう方々が戻ってきてもらうためにお金を払うわけにはいかないの、郷土愛を植え付けるようなことを考えていくべきだと思う。いろいろ考えてる自治体があり、定期的に業者と連携してSNSなどで郷土愛を植え付けるようなことも面白いと思います。</p> <p>緑が丘地域のまちの再生に地方創生特区とあるが、どういった規制緩和がありますか。</p>  |
| 事務局 | <p>基本的には土地区画整理事業を集合住宅に改めるところ、戸建ての住宅でやっていくところなど、街区ごとに小さい区画整理事業を進めていきたいと考えています。都市計画法や、区画整理法の許認可の期間を短縮するような形で現状3年程度かかるものを2年程度でできるように、来年の春ぐらいに特区申請をあげたいと考えています。</p>  |
| 会長  | <p>この特区とは戦略特区とは別物ですか。</p>  |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | 地方創生特区の取り方というのは、まだ、はっきり出ていません。   |
| 会長  | 国家戦略特区には兵庫県からは神戸と養父がありますが、規制緩和などいろいろな取り組みができます。養父は、ほかの地域ではできないような農業ができるなど養父市以外からも参入があります。  |
| 事務局 | 国の担当は決まっていますが、具体的な内容が決まっています。我々としては早く申請したいのですが、もう少し考えて待つように言われています。  |
| 副会長 | 緑が丘の住宅地について、空き家が出始めているとのことですが、ニーズの見込みはどうなっていますか。   |
| 事務局 | 緑が丘の高齢化率が39%で40%手前です。65歳以上の高齢者が2人だけで住まれている住居が800世帯程度です。約200～300は一人世帯という状況、また、これに加えて空き家が約100件あり、空き地も約100件あります。ニーズとしては1戸建て住宅が充実している街なので特に子育て世代からのニーズは期待できます。これをどのような形でリフォームを進めていくか、また街の再生をしていくのかが大きな課題です。そのために高齢者向けのサービス付き高層住宅と戸建て住宅の若者用エリアというような住み分けをしていきたいと考えています。 |
| 副会長 | 用件としては計画の条件が満たされつつある地域であるとは思いますが。ただし、街全体の印象やブランドが変わってしまうことがあるので、イメージづくりに配慮する必要があります。   |
| 事務局 | やはり、きっちり住み分けをしていくことと、もうひとつはソフト系だと思います。地域と一緒に人を助けていくケアシステム。また、奈良県の学園都市のカードによって、すべてのニーズが調整できるようなシステムを併用し、組み込んでいくことが可能になれば、いい街になると思います。日本の中で戸建て住宅団地の再生というのは、一度もなく、その一番手をきったモデルにしたいという気持ちで考えています。  |
| 会長  | 粟生線はどのような予定ですか。  |
| 事務局 | 活性化協議会では県にも正式に入っていたり、見直しの期間でありましたが、神戸電鉄の鉄道事業は昨年黒字でした。我々の支援の効果が出てきているのは事実だと思います。神戸電鉄としては上下分離を求めているが、県としてはそれをしっかりと第三者的に検証  |



|     |   |
|-----|---|
|     | <p>していかないといけないということで、これから調査をして委員会をもう一度立ち上げ、今後どうするかを考えていくのが県の考え方です。そこに三木市、神戸市、小野市と県とで協議をしていきます。平成27年度は大事な年になります。</p>                           |
| 会長  | <p>神戸電鉄は三田の路線では人口が集中していてスピードも出るが、このあたりでは、傾斜などの関係でなかなかスピードが出せないですよ。</p>  |
| 事務局 | <p>特に傾斜がきついのが、神戸電鉄の一番弱いところでもある鶴越から菊水山を超えていくところと、押部谷から緑が丘に上っていくところ、また志染から恵比須に降りていく坂がきついですが、あと小野市に向けていく大村の周辺で傾斜を作り、山岳鉄道としてスピードがあまり出せない状況です。</p> |
| 会長  | <p>新開地まで一時間かかりますからね。これではバスで行こうとなってしまいますね。</p>   |
| 副会長 | <p>市内総生産を平成24年から平成29年の5年間で5パーセント増加させるとなっていますが、今のところ見込みはどうなっていますか。</p>   |
| 事務局 | <p>6.7%ともうすでに達成しております。また、市長との協議の結果目標を10%にあげることにしました。</p>  |
| 副会長 | <p>住宅リフォームの効果というのは住宅リフォーム支援事業の効果ということでしょうか。</p>   |
| 事務局 | <p>実際の補助金は少ないが、実際の金額は、工事費として約5億円です。経済効果としては、7倍程度になります。</p>  |
| 副会長 | <p>2年間で全体としては素晴らしい成果が出ているが、この内訳を教えてください。金物やサービスなどを踏まえて、後の3年をどうしていくかを決める必要があると思います。</p>  |
| 会長  | <p>住宅リフォーム支援事業は、大きな経済効果が出ていて、どこの行政も積極的に実施されている。それだけ波及効果が高いということはやはり他産業に関連しているのだと思います。</p>   |
| 副会長 | <p>リフォームをした家には長く住もうという意識を持つことができるので、長期的な効果もあると思う。ただ、産業全体にわたって波及すればいいと思います。</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 会長  | いずれにしても目標を10%にする変更は決定ということによろしいですか。   |
| 事務局 | 平成31年までに期間を延ばしましたが、それまでに10%を目指します。  |
| 会長  | 市内総生産額の推移の資料について説明してもらえますか。   |
| 事務局 | 資料について説明  |
| 会長  | 現実問題として従来からできている4分野（ものづくり、商業、農業、観光）にどれだけ経済効果が出ているかを一度計算していただきたいです。  |
| 副会長 | すでに6.7%を超えているのに、期間を2年間延ばすことにはチャレンジ性を感じられますが、目標の角度からすると低く見積もられている気がします。  |
| 事務局 | 当初目標は1年で1%ずつ上げていくということでした。  |
| 会長  | 景気が悪かったこと、リーマンショックや震災で落ち込み、経済的に暗い時期が続き、最近やっと明るくなってきています。これが地方まで波及効果が来るか来ないかの瀬戸際にいると思います。  |
| 会長  | 最後に事務局から何かございますか。   |
| 事務局 | 市の生き残りをかけて産業等に力を入れていきます。また、地方創生に全力を挙げて取り組みますが、そのなかでも重要な中小企業支援になるので、ぜひ、地域創生戦略会議と連携をとりながら力をお借りしたいと思います。これからの三木市がかかっていると考えているのでよろしくお願いします。 |
| 会長  | また、この会議のときに前半の評価をするという認識でよろしいですか。次回の開催は、10月頃を予定しています。   |
| 事務局 | 地方創生の人口ビジョンと総合戦略を4月から9月頃までにまとめていきたいと思うので、そこで2060年の人口、今後5年間の施策の方向性などが出てくるので、それをベースに、この中小企業支援にもどんどん肉付けして行ってほしいと考えています。                    |
| 会長  | 委員の皆様は基本的には継続ということですね。  |

|     |                  |
|-----|------------------|
| 事務局 | ぜひともよろしく願いいたします。 |
| 会長  | 本日はありがとうございました。  |

## 8 閉 会